

Merc./サンカラン

水銀という金属は常温で液体である。周期律表で第六テーブルに位置し、金属の最終ラインにあり、そこにみられるのは全て重金属である。Merc.は Platinum や Aurum と密接な関わりがある。最も Syphilitic なレメディのひとつとして知られている。

Merc.の中心的なフィーリングとは、極端に独裁的な権力によって支配され抑圧されているとか、あるいはそれに対して反駁している、というものである。そのような状況に対する解決策とはそこから去るか反抗するかである。

Merc.の人は自分があらゆる方向から悪意をもって攻撃されていると感じている。自分が敵に囲まれているという Delusion があり、周りは全て敵でそれと戦って活路を開かなければならないという Delusion を持っている。自暴自棄的な応答を必要とする絶望的な状況である。

それゆえ、Merc.も他の Syphilitic なレメディも、破壊ということにアクセントが置かれており、それは自分自身が他人かどちらかの破壊である。自分が支配されていると感じ権力を否定する一方で非常に独裁的な人にもなり得る。Misha Norland のサダムフセインと Merc.に関する記述を参照する：“・・・私はどこまでも戦わなければならない。たとえそれが苦い結末を迎えようとも。祖国の全てが破壊されようとも”。

Merc.の中心テーマのひとつは暴力である―自殺的で殺人的。自分に反駁する人全てを殺したいという衝動がある。権威を否定して殺し殺されるという極端な状態にまで至る。Merc.とは極端なレメディである。この暴力と怒りは非常に突然に衝動的に起こる。暴力的な逆上状態の時にはやすやすと殺人をおかし、そしてまさにその次の瞬間にはまるでなにも無かったかのように元の自分に戻る。

実際 Merc.は非常に快活で愉快な人である。怒ったり逆上すると、Staph.のようにブルブルと震える。この暴力や破壊性は肉体的には潰瘍や非常に臭い匂いや腐敗傾向という形でみられる。

Merc.とその塩の多くにみられるのは、急いでいること、焦り、スピードである。たとえば、非常に喋るのが速いのではしばしば吃る一言の順序が逆になる。Merc.の子供には非常に落ち着き無い様子がみられる。また早熟で挑戦的である。一方では早熟であり、他方では頭の回転が遅く愚かな状態にもなる。

私がよく憶えているケースは15才の少年で、頭がぼんやりとしていて勉強に興味が無く、またなにかを身につけることにも興味がないという理由で父親に連れられてやってきた。

父親によれば、幼児期や幼い子供のころは人並み以上の子供であったとのことであった。問題が始まったように思われるのは、本来左利きなのに生徒指導の人が右で書くよう強制してからであった。そうして少年はすぐに物事に興味を失ってしまった。

私がみたところでは非常に鋭敏な知性を持っているように思われたのだが、勉強や日々の出来事、スポーツやゲームに興味を失っていた。また試験に強い恐怖感をもっていた。試験前は自信があるのに、試験中になると頭が真っ白になり何も書けなくなるのであった。結果として試験で2度失敗し、自分は結果のことを考えて

はいないと述べた。

車やガレージのことで頭がいっぱいで、夢も同様であった。最近の夢は、父親に似た人が混雑する駅のプラットフォームに立っているというもので、その人の背中にはその人を刺している手があるようにみえるとのことであった。また学校の階段で落っこちる夢もみていた。

人に強くなにかを言われるとすぐに怒りだした。また母親とうまくやっていくことができず、母親が彼になにかをするよう強制すると物を投げつけたりした。母親は金曜日に肉を食べないように彼に言っていた。彼はお小遣いで肉を買い、そのことを母親に告げ、すると母親は大声を出すことになるのだった。

彼はアクション映画やスリラー、武道の映画が好きであった。この少年は本来知性があるのだが、左利きを右利きに帰させられて、頭が鈍く愚かしく反抗的になっていた。なにかを無理にやらされるのが嫌いであった。これがこの少年の感受性のポイントである。

この少年は非常に強く恐れを感じない。たとえ学校でうまくいなくてもそれは大したことではなかったのである。物事を拒み、自分の未来や人生を破壊するほどにまでなっていた。これが外側に態度として表れるのである。

誰かの、恐らく父親であろうが、背中を刺す手を夢にみていたが、これは攻撃されていることとそれに対して攻撃し返すことを示している。この少年に潜在しているものとは、刺すことと刺されることであった。アクション映画や武道の映像を好むということは彼の中に暴力的性質があることの表れである。これは Syphilitic マヤズムの破壊性である。

この少年が最も敏感に反応するのは反対されることである。自分がしようと思っていることに反対されるような事を言われると反駁するのだった。このことによってほとんど毎晩のように刺すという夢をみるのである。無意識の深い部分には自分に反対する人を殺したいという衝動がある。

Merc.10M を投与して6～8週後、そのような夢をみたのはたった一回であったと報告してくれた。両親に対する怒りも減少した。不活発な状態が緩和され勉強にも興味を持つようになったと父親が述べた。さらに数ヶ月後、誰かが自分を攻撃しようと脅かしをかけてくるという夢をみた。私はこれを好ましいサインだと考えた。基底にあるフィーリングとのつながりが生じ、意識に上ってくるようになったのである。

父親によれば、少年はさらに生き活きとしてきて物事に興味を持ちだし、試験もうまくいっているとのことであった。車に対する執着は減少していた。2年後もあらゆる面で非常に良い状態が続いていた。

身体症状

さまざまな身体症状のうち

- 一発汗、すぐに染みを作り、黄色い染みがついたり塩の沈着物を生じてリネンがごわごわする。
- 一睡眠中の大量の唾液。
- 一潰瘍と腫脹した腺：化膿を伴った身体のあらゆる部位に生じる破壊性の病変。
- 一バターとパンを好む。

ルブリクス

- Delusion, enemy, everyone is an: みんなが敵であるという妄想。
- Delusion, surrounded by enemies: 敵に囲まれているという妄想。
- Delusion, murdered, he will be: 殺されるだろうという妄想。
- Kill, desire to, contradicts her, the person that: 自分に反対する人を殺したくなる。
- Contradict, disposition to: 反駁する傾向。
- Dictatorial: 独裁的。
- Egotism: 自己中心。
- Misanthropy: 厭世、人間嫌い。
- Suicidal disposition, seeing cutting instruments, on: 切る道具を見て自殺したくなる。
- Injure himself, fears to be left alone, lest he should: 自分を傷つけるといけないので独りでいることを恐れる。
- Kill, impulse to, herself, for a slight offence: ちょっと気分を害すると自分を殺したいという衝動が生じる。
- Delusion, mutilated bodies, sees: 身体が切断されているのが見えるという妄想。
- Irritability alternating with cheerfulness: 苛立ちと機嫌の良さが交互に生じる。
- Speech, hasty: 急いで話す。
- Speech, unintelligible: 不明朗な理解できない話。
- Senses, dullness, of: 感覚が鈍くなっている。
- Memory, weakness of, for what he has read: 記憶が弱くなり、読んだものを憶えていない。
- Anger, trembling with: 怒りで震える。

Phatak

- Cold and heat both aggravate: 寒さと暑さで悪化。
- Semen, bloody: 血の混じった精液。
- Symptoms diverse, many: 多くの多種多様な症状。